

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム小笠2号館

目標達成計画

作成日: 平成 28 年 12月 21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	11	地域・近隣の異世代交流が行なわれていない。	地域と「異世代間交流」ができる。	・自治会に働きかけ交流の場づくりの協力を得る ・市内小、中学校の生徒の受け入れを計画する(福祉体験)	12ヶ月
2	49	四季を感じ楽しめる外出計画が少ない。	四季を通じ楽しめる外出ができる。	・行事担当が中心となり季節毎、楽しめる外出計画を企画する。	12ヶ月
3	26	自己有用感の目標設定が少ない。	介護度が重度となっても介護計画に自己有用感の目標設定が出来る。	・担当者会議・モニタリング時のケア内容を、ユニット内で話し合い、重度となっても本人の「出来る事」を見つけ目標設定にする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。